

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/08/06

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.46	0.13
JPY/THB	0.2459	0.0048
USD/JPY	144.18	-2.35
EUR/THB	38.83	0.29
EUR/USD	1.0952	0.0041
USD/CNH	7.139	-0.025
SGD/THB	26.76	0.14
AUD/THB	23.04	0.04
USD/INR	83.84	0.10
USD Index	102.69	-0.52

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.263	-0.032
10Y (THB)	2.522	-0.037
5Y (USD)	3.642	0.026
10Y (USD)	3.788	-0.002

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,401.7	-24
WTI (Oil)	72.94	-0.58
Copper	8,888.5	-167.0

Stock

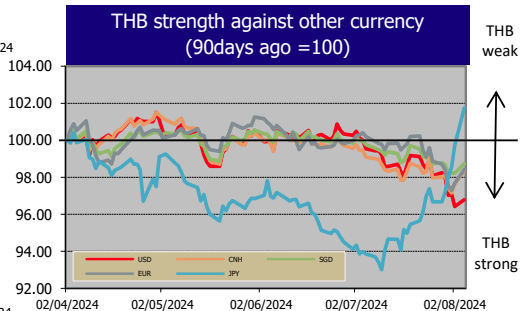
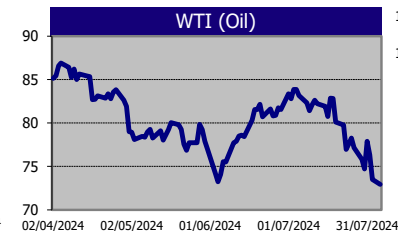
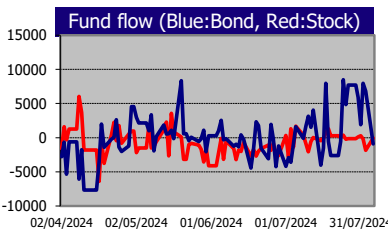
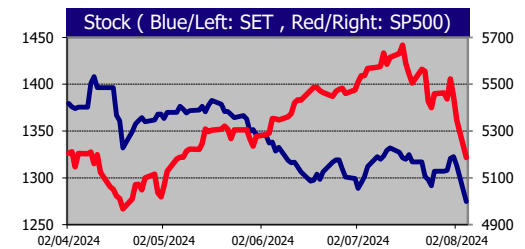
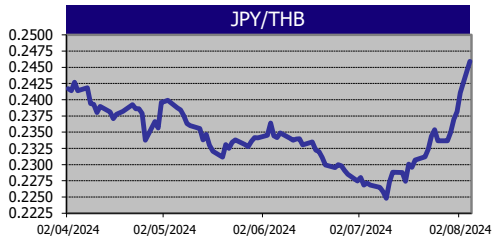
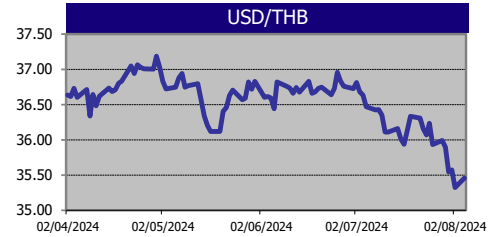
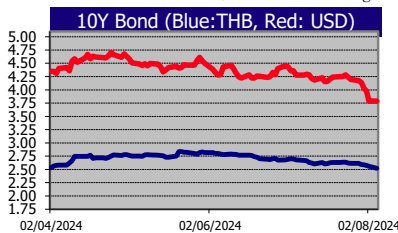
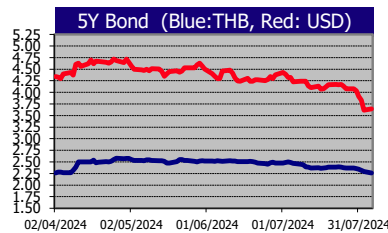
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,274.67	-38.41
NIKKEI (JP)	31,458.42	-4451.28
DOW (US)	38,703.27	-1033.99
S&P500 (US)	5,186.33	-160.23
SHCOMP (CN)	2,860.70	-44.64
DAX(GER)	17,339.00	-322.22

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(72)	1770.4
Bond net flow	(890)	-7683.6

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅上昇。日本株の暴落に連れて世界的な株安が進行したほか、中東の地政学リスク高まりにリスクオフムードが広がり、ドルは全般に売られ、ドルパーツは35パーツちょうど近辺まで下落。その後は値を戻す展開となり、35パーツ台前半レベルで海外へ渡った。NY時間に発表された米7月ISM非製造業景況指数が予想を上回ると、ドルは買い戻されたが、その後は米金利の低下に伴い売られる場面もあり、結局35.46レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は大幅下落。145円台半ばでスタート。日経平均株価が史上最大の下げ幅を記録する中、円買いが優勢となり、早々に145円ちょうど近辺まで下落。その後、中東の地政学リスクの高まりに、一段と日本株が下落幅を拡大させるとドル円も143円割れまで急落した。欧州時間では下げ渋り、142円台前半レベルでNYへ渡ると、米7月ISM非製造業景況指数が予想を上回ったことを受けて、ドルの買い戻しが優勢となり、一時144円台後半まで上昇したが、米金利が一段と低下する動きを横目に伸び悩み、143円台前半まで反落。その後は144円台に回復し、144.18レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

米商品先物取引委員会(CFTC)が集計するシカゴ通貨先物市場の建玉報告によると、投機筋(非商業部門)の円売り越しは7月初めの18.4万枚から先週は7万枚まで縮小しており、投機筋による円の買い戻しが相場の上昇を主導していた。ボラティリティが上昇したため、利息を稼いできた円キャリートレードの相場急変によるロスカットの動きは増えたと見られる。また、日米などの株価も不安定な動きが継続しており、世界的なリスクオフムードが強まったことも円キャリーの縮小に繋がると考えられる。そうした投機的な持ち高調整を経てどこまで円高が進むのをデータ面で見ると、過去2年間に於いて、最も小さかった円ショートポジションは、FRBの下下げ転換が意識され始めた23年末であり、6週間では約57%減り(23年11月14日の13万枚→12月26日の5.5万枚)、その間の円のの上昇率は約6%だった。足元は23年末と比べると、持ち高調整の余地という意味では円買いが継続する可能性があると考えており、円に一段の上昇余地があると考えている。(Li)